

# 営農情報

2020  
8月号 No.93

J Aレーク伊吹 経済部 営農企画課  
TEL 0749-63-2101 FAX 0749-64-2085

## 今月の話題

- ◆ 収穫前からの注意点
- ◆ 出穂前後 3 週間は常時湛水管理を実施しましょう
- ◆ 農作業時の事故に注意しましょう
- ◆ 購買商品配送計画のご案内(8月)

農家所得増大  
"コシヒカリプレミア88"  
チャレンジ!



### 要件

- みずかがみ（全農基準）・コシヒカリ・特別栽培米コシヒカリで個袋及びフレコンにて出荷した検査等級が1等の米
- J A 自主分析で、整粒 80%以上・食味値 80点以上の米

### メモ

- ✓ 土づくり資材 “田華の豊稲”  
注文書 8月中旬に配布予定
- ✓ エコ コンバイン油 申込受付中 9/30まで
  - ・ 4ℓ (缶) 2,739円
  - ・ 20ℓ (缶) 13,178円



### 病害虫防除所発表 斑点米カメムシ類 発生量 やや多



7月下旬に斑点米カメムシ類の発生調査を行いました。昨年同様、畦畔に雑草が多い圃場、山間部近くの圃場、ヒエが多い圃場でカメムシが発生しておりました。病害虫について圃場を今一度ご確認ください。

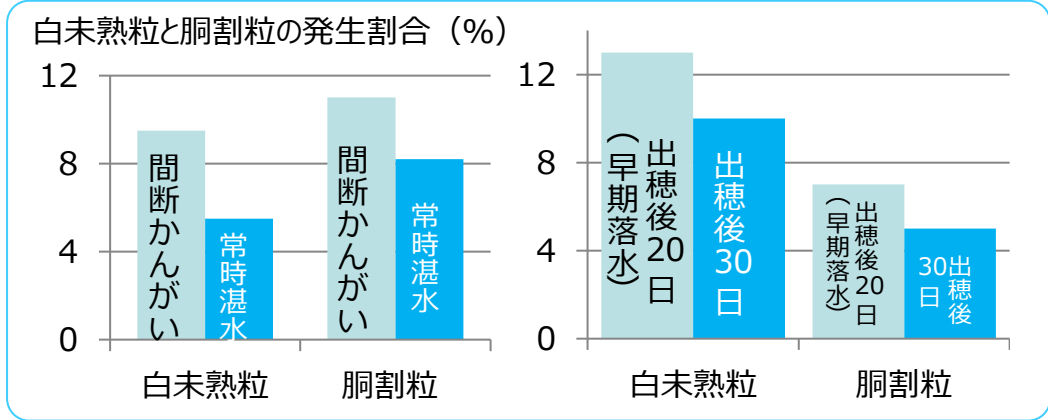
# 収穫前からの注意点

今まで丹精込めて栽培してきたお米の収穫作業が始まります。良食味・高品質な米を生産するには、気候や土壌による影響が大きいです。収穫や乾燥調製も影響します。そこで収穫前からの注意点を載せさせていただきますので参考にしてください。

## 収穫編

### 適正な水管理

- 出穂前後3週間の湛水管理を実施しましょう。
- 早期落水は、粒張りが悪くなり、白未熟粒・胴割粒も増加します。

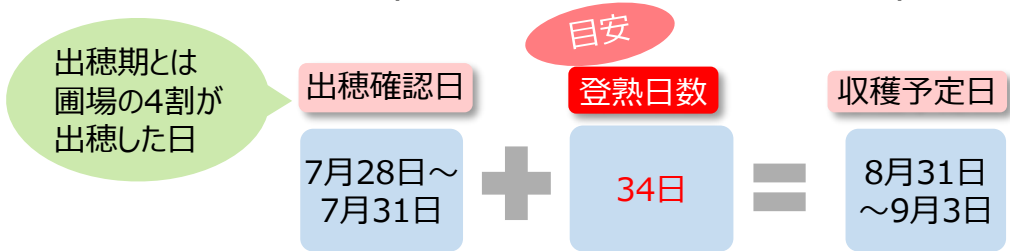


### 適期収穫

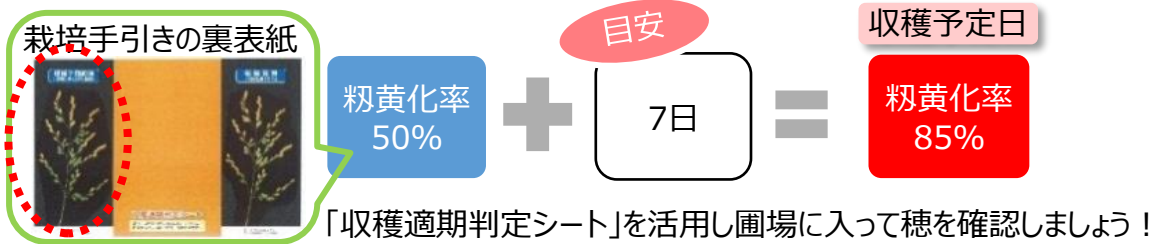
- 早刈りすると…青未熟、未熟粒の混入増加や収量低下
- 刈遅れると…胴割粒、白未熟粒の増加や倒伏を助長

収穫日を予測しましょう!!

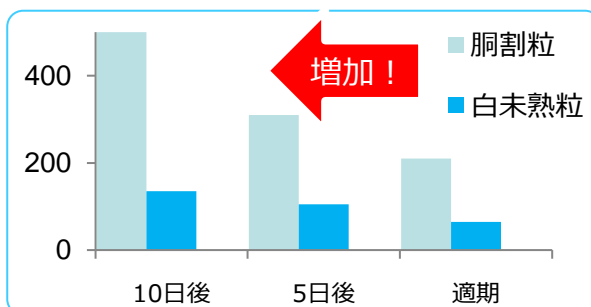
➤ 出穂期から見る収穫予測 (5月上旬植エコシヒカリの場合)



➤ 籾黄化率からの収穫予測



➤ 刈遅れが玄米品質に及ぼす影響



収穫期の予測を行い、天候や収穫面積を考慮し、適期収穫ができるよう収穫計画を立てましょう



### コンバイン作業

胴割粒防止のため低スピードで衝撃を抑えます。



ゆとりを持って作業  
を行いましょ

### カントリー利用の方へ

- ◆ 生産管理日誌にて確認済の籾のみを荷受けします。
- ◆ ヤケ米・ムレ米等の防止のため、脱穀したら4時間以内に搬入してください。
- ◆ 麦混入籾は絶対持ち込まないでください。
- ◆ 適期刈り取りをして下さい。(胴割粒等、品質低下防止)
- ◆ 全体の品質を悪くしない為、著しい高水分籾、未熟粒の著しい籾、カメムシ等の被害籾は荷受けできません。



### 自家乾燥調製の方へ

#### ◆ 乾燥作業

収穫後は速やかに通風乾燥をします。  
乾燥は毎時乾減率0.8を超えない！  
乾減率が毎時0.8%を超えると胴割れが増加します！！

乾燥スピードに注意！！

計算してみましょう

仕上水分  
14.5~14.9%

$$\frac{(\text{張り込み後通風水分} - \text{仕上水分} 14.5)}{\text{毎時乾減率} 0.7} = \text{乾燥時間}$$

(計算例) 張り込み通風後水分25%  
仕上げ水分14.5%の場合

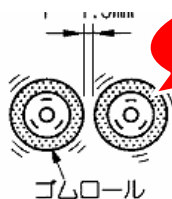
$$(25 - 14.5) / 0.7 = 15 \text{ (時間)}$$

- ✓ 乾燥時間は15時間以上必要  
これより短ければ胴割れが発生する恐れがあります
- ※乾燥機の調整は販売店へ確認をお願いします



#### ◆ 調製作業

籾すり作業時のゴムロールの締めすぎに注意しましょう



適正なロール  
圧力調整！

仕切り  
板調整



- ✓ 脱ぶ率を上げすぎると、胴割れしやすいものは碎けてしまうので、ロール間隙を適切に調整してください。
- ✓ 籾の混入と肌ズレがないよう玄米仕切り板を調整しましょう。

※乾燥直後の籾すりは、水分のバラツキや肌ズレが発生しますので、時間をおいてから作業を行いましょ。

## 出穂前後3週間は常時湛水管理を実施しましょ

カドミウムの吸収抑制  
対策と併せて、乳白粒  
と胴割粒対策にも  
**効果大**

出穂期

収穫までは土を  
白く乾かさな

収穫期

高温下では、品質低下が一層助長されてしまします。収穫作業に支障のない程度に落水は遅らせましょ。

### 出穂前後各3週間常時湛水

7月

8月

9月

# 農作業時の事故に注意しましょう

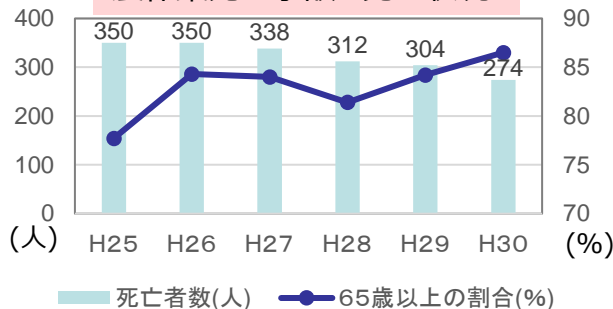
農作業事故の死亡者数は平成30年で274人と前年より30人減少しておりますが、農作業時に負傷する事案がまだまだ多いのが現状です。これから収穫作業が本格的にスタートする時期になりますが、天候や故障などで作業のペースが落ちると、焦りから安全確認不足や基本的な操作ミスが起こりやすくなります。暑い中で作業となりますので、体調面にも気をつけていただき安全な作業を行うよう心掛けましょう。

## 発生状況と傾向

農作業時の死亡者数は274件と年々減ってきていますが、65歳以上の方による事故が237件と死亡事故全体の87%を占めています。



## 農作業死亡事故の発生状況



## 事故例

- ◆刈取作業中、詰まったわらを手で取り除こうとして左手薬指を切断した。
- ◆コンバインで稲刈り中バックしていたところ畦畔から転落し水路に落下、右足を骨折した。
- ◆翌日の稲刈り作業に備え、夜間に圃場へコンバインを移動中に畦から落下し機械の下敷きになった。

## 事故防止のポイント

- ◆機械の詰まり等を取り除く場合は、エンジンを切り、機械の停止を確認してから行いましょう。
- ◆「首にタオルを掛けない」「巻き込まれやすい服装をしない」等、作業時の服装に気をつけましょう。
- ◆圃場に入出入りするときは、勾配や段差に十分注意し、転倒や転落を防ぎましょう。
- ◆シートベルトの着用を徹底するとともに、早めにライトを点灯しましょう。

## その他に注意すべきこと

- 熱中症は気温が高くなる7～8月に集中しており、今の時期が熱中症のリスクが最も高くなっているため、引き続き熱中症対策を忘れずに！
- 近年、短期間に局地的大雨が降ることが増えてきています。増水時は絶対に川や水路に近づかないで下さい。

# 購買商品配送計画のご案内(8月)

- ◆米袋 8/5～8/18  
長浜地区、米原・近江地区、山東・伊吹地区の順番で配送予定
- ◆大豆防除資材 8/17～8/25
- ◆ラウンドアップマックスロード【キャンペーン中】 随時配送

上記日程で配送を予定しております。  
商品によっては配送先の場所の確保をお願いします。

